令和7年度 (数学探究Ⅱ) シラバス

教 科	数学	科 目	数学探究Ⅱ		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	文 系
教 科 書	自作教材 (松山北高校)		副教材	4プロセス (数研出版) 他	
学習目標	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第1章 代数学Ⅱ	・整式の乗法・除法や分数式について理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。また、座標や式を用いて、平面図形の考察に活用できるようにする。 ・図形と方程式の基本的な概念について理解し、事象の考察に活用できるようにする。 ・三角関数、指数関数と対数関数、数列の性質について理解し、事象の変化を数学的に考察できるようにする。 ・微分法と積分法の概念について理解し、関数の増減を調べたり、面積を求めたりできるようにする。
	第2章 幾何学Ⅱ	
	第3章 解析学Ⅱ	
2 学期	第4章 確率・統計学	・確率について理解し、事象を数量的にとらえて考察し処理できるようにする。 ・正規分布など、統計学の理解を深め、事象の考察に活用できるようにする。 ・過去に出題された入試問題の中から精選した良問を解くことによって、多面的にもものを見る学力や論理的に考える力を養う。
	第5章 良問に触れるⅠ	
3 学期	第6章 良問に触れるⅡ	・過去に出題された入試問題の中から精選した良問を解くことによって、多面的にもものを見る学力や論理的に考える力を養う。

評価の観点及び内容、評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・定期考査 ・確認テスト
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、本質や他との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・定期考査 ・確認テスト
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。	・定期考査 ・確認テスト ・ノートや課題 ・自己評価